

平成24年度 第1回 新宿区多文化共生まちづくり会議 議事概要

日 時 平成24年9月7日（金）10:00～12:00

場 所 新宿区役所第一分庁舎 6 F 研修室A

出席委員 毛受委員、川村委員、稲葉委員、小島委員、金朋央委員、金世煥委員、曹委員、
金根熙委員、丁委員、イーイーミン委員、センプ委員、シュレスタ委員、江副委員、
鈴木委員、小林委員、バーバー委員、栢木委員、盛委員、リコ委員、李委員、
梶村委員、本多委員、朝倉委員、太田委員、森田委員、勝村委員、乾委員 27名

欠席委員 山脇委員、藤田ラウンド委員、魚見委員、二瓶委員 4名

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 区長挨拶

- 4 会長・副会長選出

会 長：毛受 敏浩委員

副会長：李 承珉委員、森田 忠幸委員 を選出した。

- 5 委員自己紹介

- 6 事務局職員、関係所属職員紹介

危機管理課長、戸籍住民課長、子ども総合センター所長、子ども家庭課企画係長、教育調
整課企画調整係長、学校運営課学校運営支援係長

- 7 諮問について

区長から諮問事項及び理由の説明を受けた。

①外国にルーツを持つ子どもの教育環境の向上について

②災害時における外国人支援の仕組みづくりについて

- 8 部会の設置

①「外国にルーツを持つ子どもの教育環境の向上」部会

②「災害時における外国人支援の仕組みづくり」部会 の2つの部会を設置することを決定した。

9 今後の予定

事務局から全体会議、部会の開催予定、区長への中間報告、答申のスケジュールについて説明を受けた。

10 質疑、意見交換

- ・部会への参加は1つの部会のみか？

⇒どちらか1つの部会に所属し、他の部会にオブザーバー参加することは可。

- ・1年後の中間報告、2年後の答申というペースの検討でよいのか？

⇒実現可能なものは随時、施策への反映を図っていく。

- ・住基制度の改正により在留カードのない子どもの就学は？

⇒区内居住の実態があれば、区立学校への就学可。

区では制度改正にあたり、行政サービスの検証を行った。原則としてサービスが低下しないようにした。

- ・災害時、外国人観光客への支援は？

⇒外国人を含めた帰宅困難者対策を検討している。

日本人も外国人も多くの人々が活動している新宿区では、交通機関や企業、商店街も含めて災害等に対するまちの力を高めていくように取り組んでいる。

- ・今回、諮問されたテーマ以外に、外国人と日本人のコミュニケーションに関する地域の課題については検討しないのか？

⇒それぞれの部会の中で関連して議論が可能と考える。

- ・諮問事項を事業化するための予算は？

⇒施策に反映していく中で、必要な予算を措置する。

- ・今後、マイナスをゼロにするテーマだけでなく、ゼロをプラスにするようなテーマも検討したい。

- ・今回、出席している以外の部署からも会議への参加を要請できるのか？

⇒出席を求め、意見を聴いたり、資料の提出を求めることが可。

11 その他

危機管理課長からJアラートについての説明があった。

12 閉会